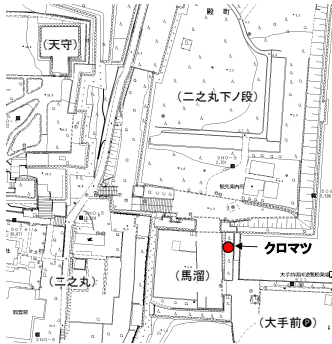


## 史跡松江城地内での倒木発生状況と今後の対策について

史跡松江城地内において、6月23日と、7月24日に倒木が発生しましたので報告します。

### (1)倒木発生状況(クロマツ)

- 日 時 令和6年6月23日（日）未明⇒朝6時に市民が発見・通報
- 発生場所 馬溜広場
- 状 況 枳形の東側石垣上にあったクロマツが、地上約3m付近で幹が折れて広場側に倒木した。人的被害なし、文化財への影響なし。
- 樹木の状態 （樹高）約20m以上、（幹径）120cm×110cm、（樹齢）200年以上  
枝葉は健全と見られたが、幹内部はカイメンタケ（針葉樹に発生するキノコ）の影響で、腐朽と空洞化が進行していた。  
幹に亀裂があり、内部に雨水が浸透して腐朽を早めた可能性が指摘された。  
過去に落雷に遭った可能性も指摘された。
- 倒木の原因 幹内部の腐朽・空洞化と、6月22日夜半～23日未明の大雨と強風の影響



倒木位置(馬溜広場)



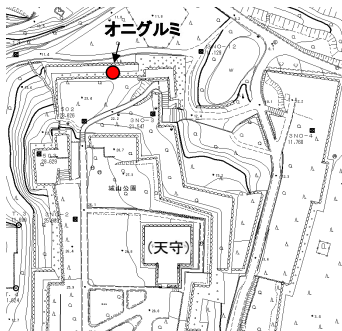
クロマツ倒木状況



幹の状況

### (2)倒木発生状況(オニグルミ)

- 日 時 令和6年7月24日（水）未明⇒朝6時頃に市民が発見・通報
- 発生場所 腰曲輪
- 状 況 枯死曲輪の石垣上に自生していたオニグルミが、高さ約5m付近で幹が折れて園路に落下した。人的被害なし、文化財への影響なし。
- 樹木の状態 （樹高）約10m、（幹径）25cm（樹齢）不明  
幹に寄生植物が付着し、内部は腐朽して柔らかくなっていた。
- 倒木の原因 幹内部の腐朽と、7月24日未明の大雨の影響



倒木位置(腰曲輪)



オニグルミ倒木状況



幹の状況

### (3)緊急樹木調査

- ・倒木の発生を受けて、7月2日と7月25日に公園内の樹木を目視と打音で点検した。  
⇒新たに伐採や枝打ちが必要となる樹木を確認した。  
※現在、調査結果をまとめて、今後の対応とスケジュールを検討中。